

宗教者であるはずの僧は なぜ武器をとったのか？

悪僧・僧兵とも呼ばれ、宗教的権威を盾に強訴を行い、朝廷や公家社会を脅かした僧侶たち。
中世特有の現象が生まれた背景と展開を、「祈り」と「暴力」を切り口に解き明かす。



2026年2月下旬刊行

【中世】

僧兵・大衆・強訴

—表裏一体の祈りと暴力—

四六判 / 並製 / 398頁

本体価格：3,200円＋税

ジャンル 人文書、日本史

衣川仁 著

読み
どころ

- ◎ 祈りを捧げるはずの僧侶が引き起こす合戦と暴力の実態
- ◎ ふりがな、図版を多数掲載し、読みやすく編集！
- ◎ 殴る、切る、焼く、罵る…。貴族の記録に残るバリエーション豊かな僧兵の暴力

【目次】

- 第一部 僧兵＝祈りと暴力の力
- 序——祈りと暴力の中世史
- 第一章 悪僧跋扈の時代
- 第二章 冥顕の中世
- 第三章 天台仏法の擁護者・良源
- 第四章 佐異・飛礫・呪詛
- 第五章 霊験と帰依
- 第六章 都鄙を闊歩する大衆・神人
- 第七章 強訴とはなにか
- 第八章 善なる大衆の時代へ

- 第二部 僧兵＝祈りと暴力の相克
- 序にかえて——記録された僧兵
- 第一章 切る、焼く、射る
——僧兵の暴力
- 第二章 強訴の暴力論
- 第三章 強訴と合戦の間
- 第四章 「京中」秩序を守る
- 結びにかえて——僧兵とはなにか

ISBN : 978-4-86403-433-3

204ページ

寺社焼き討ち
植田誠 著

1800円＋税

ご注文はとちらまで ☎ FAX 03-5275-3365

注文書	帳合・貴書店名印	フリー入帖
	冊	<p>僧兵・大衆・強訴</p> <p>—表裏一体の祈りと暴力—</p> <p>ISBN 978-4-86403-608-5 衣川仁 著</p> <p>3200円（本体）</p>

戎光祥出版株式会社 東京都千代田区麴町 1-7 相互半蔵門ビル 8F

TEL03-5275-3361/FAX03-5275-3365